

県民の森だより



県民の森の冬の行事、恒例のスノーシュー体験とクロスカントリースキー教室。5歳から70歳代まで、少人数で楽しく練習。家族的な雰囲気の中に歓声がこだまします。

「今月の行事より」

県民の森の

スノーシュー体験

1/12・22

クロカン教室

1/15・29



なにごとも基本が大切。みなさんしっかり練習しました。



(先月の行事から)

ミニ門松作り 12/23

ミニとはいえ、高さ90センチのりっぱな門松を作りました。玄関に飾ると家が引き立って見えたそうです。初めての人、二回目の人、合わせて22人が参加しました。



スノーシューを履いて森の中へ。冬の森自然観察です。

岩手県 県民の森管理事務所

〒028-7302

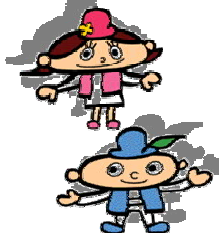
岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・0195-78-2092

FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

E-mail forest@kenminnomori.com



県民の森の エコ暖房 その 「ペレットストーブ」

県民の森のエコ暖房。今回はペレットストーブです。

前回は館内全体を暖房するチップボイラーを紹介しましたが、随時ON・OFFしたりする小回りが利かないという欠点がありました。その欠点を補っているのがこのペレットストーブです。

秋の急な冷え込みや、ボイラーの立ち上がり時などに利用されています。燃料はもちろん木質バイオマスのペレット。樹木の皮や幹を粉のようにして固めたものです。チップボイラーの燃料と同じように、今まで捨てていた物を活用することが出来ます。

岩手県でもメーカーと共同開発するなど積極的にその普及を図ってきています。今では南部鉄器を組み込んだもの、調理スペースのあるもの、薪ストーブとの兼用型、灯油ファンヒーターのような横型など各メーカーも家庭用の改良型を次々に出しています。(県で補助金を出す制度は終了しています)

ペレットは3種類

パークペレット (樹の皮を使います)

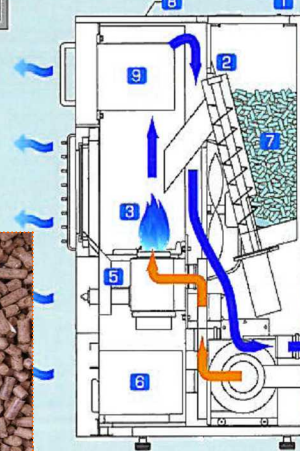
ホワイトペレット (木質部を使います)

全木ペレット (樹木全体を使います)



県民の森学習館事務室のペレットストーブです。上部には調理スペースがあります、天板は南部鉄器で出来ており、鍋やかんを乗せて保温することも出来ます。事務所のみなさんは、お弁当の保温にも使っています。

- 1 操作パネル
スイッチ一つで着火・消火ができます。室温設定やタイマーなどの機能も備えています。
- 2 自動燃料供給機構
- 3 燃焼部(バーナ)
- 4 FF給排気筒
- 5 点火ヒーター
- 6 灰トレイ
- 7 燃料タンク
- 8 南部鉄器
- 9 加熱調理部



学習館展示ホールには大型のストーブを3台設置して、急な寒さなどに備えています。

学習館の木質バイオマス展示コーナー

県民の森学習館では、前回ご紹介したチップボイラーと、ペレットストーブを題材に、木質バイオマスを易しく学べる展示コーナーを設けています。

ボイラーの運転状態が一目で解る画面や、木質燃料の実物を手に取ってバイオを実感する事が出来ます。一度お立ち寄り下さい。



県民の森散策スポット

県民の森の散策スポット。今回は学習館から七滝への散策コース。そのあちらこちらに露出する、「なぞの土管」です。

路傍の土管

七滝コースに露出する
一体誰が、何のために



前回は紹介した県民の森学習館から七滝への散策コース。その中程の「野鳥観察舎」から少し登ってゆくと、登山道の所々に土管が露出している場所を目にします。

これは、この先の大地獄谷に硫黄鉱山があった頃、そこに湧いていた温泉を、地元の資産家が今の県民の森あたりまで給湯した跡です。

なんとかお湯は出たらしいのですが、すぐに土管が壊れたりして幻に終わったそうです。すごい人がいたものですね。

土管は二種類、普通の土管とコンクリートです。標高差があり、強い圧力がかかったのでしょう。

県民の森行事予定

いつもの

七滝氷瀑ツアー

2月 5(日)・12(日)・25(土)
26(日)親子限定

8時50集合～3時半終了

大人 1000円(温泉券付)

子供 500円(小学4年以上)

スノーシューレンタル 500円

締切 2日前まで(定員 15)



お祭りの

七滝氷瀑ツアー

「八幡平・安比ゆきフェスタ共催」

2月 18(土)・19(日)

8時40集合～3時終了

大人 1000円・子供 500円(小学

4年以上)温泉券・記念品付

スノーシューレンタル 500円

締切 2月 14日(定員 30)



木工センターの

木工教室

2月 18日(土)

飾り棚(壁掛け)

3月 18日(日)

花台

9時30分～3時30分

1週間前まで申込。定員 10名



作品見本

県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品で、今回は「ツルフジバカマ」です。



森の中はいま

県民の森入り口にある希樹園。日帰り温泉「森乃湯」の交差点向かいにあるのですが、今は訪れる人も無くひっそりとしています。それでも、園内に入ってみると、そこには生き物たちの痕跡があちらこちらに見られます。

車道から見えるドイツウヒの並木
この中で、手前のリスの足跡を追って、テンの足跡が続いています(下)



園内東屋の縁の下にもテンの足跡がたくさん(右)



真っ白な中に赤い実をつけた

枝がニヨッキリ。ニシギギ(上)と(右)ノイバラ

おねがい

犬の落し物は冬もお持ち帰りを

みんなの広場などの園内は、ペットとの散歩を認めていますが、落し物の始末は冬も同じです。春になり、冷凍保存が解ければそのまま出てきます。その上で子供たちが遊んだりするので、ペットへの愛情を、真っ白な公園と利用するみなさんにも分けてくださいね。

また、七滝登山口から上の地域はペット禁止になっています。今年も快適なハイキングを楽しみましょう。

編集後記



アオサギのダンス

県民の森の職員が、出勤途中八幡平市南寄木地区の田んぼで「アオサギ」を見つけました。アオサギは日本で見られるサギの中で最も大きく、田んぼや沼で小魚や小動物をエサにしています。よく、ツルと間違えそうです。